



## ジャパン・カット！ 2016 作品情報



ジャパン・ソサエティー 333 E. 47<sup>th</sup> St., between 1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> Avenues  
チケット購入・お問い合わせ： ボックス・オフィス 212-715-1258  
(月曜～木曜 午前11時～午後6時/金曜 午前11時～午後9時)  
または、オンライン [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

## 第10回 『JAPAN CUTS ～ジャパン・カット！』

～毎年恒例ジャパン・ソサエティー夏の映画祭も今年は10回目！～

2015年7月14日(木)～7月24日(日)

\* チケット・インフォメーション \*

入場料: 一般 **14ドル**/学生・シニア **11ドル**/会員 **10ドル**

- \* 7月14(木)&7月21日(木) ソフトドリンク・ワイン・ビール飲み放題とおつまみ付きのアフター・パーティー付き上映会  
パーティー付特別チケット:  
一般 **20ドル**/学生・シニア **17ドル**/会員 **16ドル**  
(映画のみのチケットはありません)

**特別割引: 5作品以上購入で各券が2ドルずつ割引!**

5作品以上ご購入頂いた場合には、チケット一枚につき2ドルの割引が適用されます。  
(注1)この特別割引は、7月14日(木)『モヒカン故郷に帰る』と7月21日(木)『シェル・コレクター』の上映会には適用されません。  
(注2)この割引チケットは、ボックス・オフィスでの購入または電話による注文のみで受付します。オンラインでは購入できません。

会場: ジャパン・ソサエティー(333 E. 47<sup>th</sup> St., between 1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> Avenues)  
チケット購入・お問い合わせ: ボックス・オフィス 212-715-1258  
(月曜～木曜 午前11時～午後6時/金曜 午前11時～午後9時)  
または、オンライン [www.japansociety.org](http://www.japansociety.org)

\* ジャパン・ソサエティーは6月19日(日)、6月25日(土)、7月2日(土)、3日(日)、4日(月)は、閉館しております。この間ボックス・オフィスでのチケット購入ができないことをご了承下さい。

チケット発行手数料

オンライン: チケット一枚につき1ドル

電話: チケットの枚数に関わらず、注文1回につき3ドル

ボックス・オフィス: 手数料なし

(注)ジャパン・ソサエティー会員価格でのチケット購入の際には会員IDの提示が必要です。特別な場合を除き、会員は1回につき2枚まで特別割引価格でチケット購入ができます。すべてのチケットの払い戻し・交換はできません。

\* 詳しくは <http://www.japansociety.org/japancuts> をご覧ください。上映作品のタイトルおよび上映開始時刻は予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

**【上映スケジュール&作品紹介】** \* 以下、上映順・全作品英語字幕つき

『モヒカン故郷に帰る』Mohican Comes Home | 北米初公開 |

7月14日 木曜日 午後7時

\* オープニング作品

\* 沖田修一監督と女優・前田敦子による舞台挨拶及び質疑応答

\* 上映後にオープニング・ナイト・パーティーを開催



モヒカン頭の売れないバンドマン永吉(松田龍平)は、恋人・由佳(前田敦子)の妊娠と結婚報告のため7年ぶりに故郷・広島の高島(とびじま)に帰る。矢沢永吉をこよなく愛する頑固親父・治(柄本明)、熱狂的なカープファンの母・春子(もたいまさこ)、そして弟・浩二(千葉雄大)のにぎやかな家族がそろう、時には一家総出のド派手な親子喧嘩も勃発。そんな中、二人の結婚を祝う大宴会が開かれたある晩、永吉は治が倒れているのを発見。病院での検査結果はガンと分かる。余命宣告を受ける中で永吉は父を喜ばせたいと奮起するが…。  
2016年 | 125分 | DCP | 監督・沖田修一 | 出演・松田龍平 前田敦子 柄本明 もたいまさこ 千葉雄大

『蜜のあわれ』Bitter Honey | ニューヨーク初公開 |

7月15日 金曜日 午後6時30分



詩人・作家の室生犀星が1959年に発表した幻想文学を鬼才・石井岳龍監督が映画化。室生自身をモデルにしたともいわれる老作家(大杉漣)と、変幻自在の金魚の姿を持つ少女・赤子(二階堂ふみ)が織りなす、無邪気かつエロティシズム漂う触れ合いが描かれる。時には人間の少女として、時には金魚として現れる不思議な少女・赤子は、老作家のことを「おじさま」と呼び、二人は共に暮らしている。屋にはエロティックな会話を交わし、夜はびったりと寄り添って寝る仲の二人。そこに、老作家のかつての恋人、ゆり子(真木よう子)が現れる。これをきっかけに、赤子たちの周りに事件が起きていく。  
2016年 | 82分 | Blu-ray | 監督・石井岳龍 | 出演・二階堂ふみ 大杉漣 真木よう子 高良健吾 永瀬正敏

『下衆の愛』Lowlife love | 北米初公開 |

7月15日 金曜日 午後8時30分

\* 内田英治監督と俳優・でんでん、プロデューサー・アダムトレルによる舞台挨拶及び質疑応答



インディーズ映画界の底辺に生きる下衆な人々の葛藤や映画愛を描いたドラマ。40歳を目前に夢を諦めきれない自主映画監督のテツオ(渋川清彦)は、かつての映画祭受賞経験が唯一の自慢。女優を自宅に連れ込むなど自堕落な毎日を送っていた。そんなある日、才能あふれる新人女優・ミナミ(岡野真也)と出会い、新たな希望にかけ新作映画に取り組み始める。“裸と動物”にこだわる団塊世代のプロデューサー・貴田(でんでん)や、枕営業に全てを賭ける売れない女優・響子(内田慈)など、個性的な仲間とともに最後の挑戦が始まるが、そこには夢とはかけ離れた厳しい現実の壁が立ちふさがる。

2016年 | 105分 | DCP | 監督・内田英治 | 出演・渋川清彦 でんでん 忍成修吾 岡野真也 内田慈 津田寛治

『殿、利息でござる!』The Magnificent Nine  
| 米国初公開 |  
7月16日 土曜日 午後12時



歴史家・磯田道史による評伝『無私の日本人』の一編「穀田屋十三郎」を映画化。舞台はおよそ250年前、江戸時代の仙台藩。財政難により民衆は容赦なく重税を課され、破産と夜逃げが相次ぐ状況となっていた。そんなある日、造り酒屋の十三郎（阿部サダヲ）は、知患者の篤平治（瑛太）から宿場復興の秘策を打ち明けられる。それは藩に大金を貸付け、利息を巻き上げるといいう大胆不敵な逆転の発想。千両（現在の価値で約3億円）もの大金を水面下で集めるとい、前代未聞の頭脳戦が始まる。十三郎と弟の甚内（妻夫木聡）、そして宿場町の仲間たちは、命をかけてその悲願に挑む。仙台出身のフィギュアスケート選手・羽生結弦が本作で映画初出演を果たしたことも話題。  
2016年 | 129分 | Blu-ray | 監督・中村義洋 | 出演・阿部サダヲ 瑛太 妻夫木聡 岩田華怜 竹内結子 松田龍平

『『園子温という生きもの』The Sion Sono  
| 北米初公開 |  
7月16日 土曜日 午後2時30分



数々の国際映画祭で受賞を重ねる“鬼才映画監督”として不動の地位を築いた園子温を1年間にわたり密着取材したドキュメンタリー。故大島渚監督の次男である大島新監督が、染谷将太や二階堂ふみ、妻で女優の神楽坂恵ら俳優陣へのインタビューを交えながら、その人間性に迫っていく。2015年には『新宿スワン』『ラブ&ピース』『リアル鬼ごっこ』『映画 みんな!エスパーだよ!』と4本もの新作が公開され超多忙な毎日過ごす一方で、小説執筆やバンド活動など多彩な活動を行う姿が描き出される。  
2016年 | 97分 | DCP | 監督・大島 新 | 出演・園子温 染谷将太 二階堂ふみ 神楽坂恵

『ひそひそ星』The Whispering Star  
| ニューヨーク初公開 |  
7月16日 土曜日 午後4時45分  
\* 園子温監督による紹介ビデオメッセージ



第40回トロント国際映画祭最優秀アジア映画賞受賞。鬼才・園子温監督が20代の頃に執筆した脚本を、25年の時を経てモノクロームの映像でつづったSFドラマ。舞台は、人工知能ロボットが宇宙を支配し、人類は絶滅の危機に立たされている世界。アンドロイドの鈴木洋子（神楽坂恵）は、相棒のコンピューターとともに宇宙船に乗って宇宙各所の星に人間の荷物を届ける仕事をしている。ある日洋子は、大きな音を立てると人間が死ぬ恐れのある“ひそひそ星”に荷物を届けることになるのだが…。  
2016年 | 100分 | DCP | 監督・園子温 | 出演・神楽坂恵 遠藤賢司 池田優斗 森康子

『ラブ&ピース』Love & Peace  
| ニューヨーク初公開 |  
7月16日 土曜日 午後7時30分



\* 園子温監督による紹介ビデオメッセージ  
世界的な名声を誇る鬼才・園子温監督が、愛をテーマに自身初となる特撮に挑戦した異色作。ロックミュージシャンを夢見ながらも平凡な毎日過ごすサラリーマン・鈴木良一（長谷川博己）は、同僚の寺島裕子（麻生久美子）に想いを寄せているものの声をかけることもできず、うだつが上がらない日々を過ごしていた。そんなある日デパートの屋上で一匹のミドリガメと出会う。ピカドンと名付けて可愛がるも、会社の同僚にからかわれてトイレに流してしまう。後悔してやまない良一だったが、ピカドンは密かに地下に住む謎の老人（西田敏行）に拾われ、そこから思いもよらない展開が始まることになる。  
2015年 | 117分 | DCP | 監督・園子温 | 出演・長谷川博己 麻生久美子 西田敏行 渋川清彦 マキタスポーツ

『あえかなる部屋 内藤礼と、光たち』A Room of Her Own: Rei Naito and Light | 北米初公開 |  
7月17日 日曜日 午後12時



光、風、水などうつろいゆく自然の表情を取り入れ、神秘的な作品を生み出す現代美術家・内藤礼。彼女の作品に魅了された中村佑子監督が、これまで作品制作現場を決して明かすことがなかった内藤に取材を依頼し2年間にわたって撮影を敢行。しかし、その過程で「撮られると、つくることが失われてしまう」と感じる内藤は、撮影半ばで取材を拒否することとなる。監督は、香川県・豊島美術館にある代表作「母型」を訪れた5人の女性たちの姿を通して、内藤にカメラを向けずに、内藤のアートの本質に迫ってゆくことを決意し、内藤のアートの本質を探究していく。  
2015年 | 87分 | Blu-ray | 監督・中村佑子 | 出演・内藤礼 谷口蘭 湯川ひな 大山景子 沼倉信子 田中恭子

『さようなら』Sayonara | 北米初公開 |  
7月17日 日曜日 午後1時45分



人間とアンドロイドが劇中で共演する異色の話題作。2010年に劇作家・平田オリザとロボット研究者・石黒浩が手掛けた世界初の人間とロボットが共演する演劇プロジェクト『さようなら』を、深田晃司監督が脚本も手がけて映画化。舞台は、原子力発電所の爆発によって深刻な放射能汚染に侵され、国民の国外避難を余儀なくされている近未来の日本。町はずれに暮らす難民のターニャ（ブライアリー・ロング）と病弱な彼女をサポートする旧型の介護用アンドロイド・レオナ（ジェミノイドF）は、避難優先順位下位のため避難できずに取り残されている。多くの人が消えていくなか、静寂な街の中でやがてターニャは最期の時を迎える。死を知らないアンドロイドは果たして――。  
2015年 | 112分 | Blu-ray | 監督・深田晃司 | 出演・ブライアリー・ロング 新井浩文 ジェミノイドF 村田牧子



## 『母と暮せば』 Nagasaki: Memories of My Son | アメリカ初公開 |

7月17日 日曜日 午後4時15分

\* 作曲家・坂本龍一による舞台挨拶



第39回(2016年)日本アカデミー賞受賞作。作家の井上ひさしが晩年、自著『父と暮せば』の対になる長崎を舞台にした作品を構想していたことを知り、名匠・山田洋次監督が、自身初となるファンタジードラマとして本作を実現。1948年8月9日、長崎。助産婦として働く伸子(吉永小百合)の前に、3年前の原爆で命を落としたはずの息子・浩二(二宮和也)がひょっこり姿を現わし、以来、たびたび姿を現すようになる。浩二は、伸子との思い出話や、気がかりなかつての恋人・町子(黒木華)のことを話すようになる。切なくも優しさに包まれた母子の不思議な時間は、いつまで続くのか——。音楽は、山田監督とは初顔合わせになる坂本龍一が手掛ける。

2015年 | 130分 | Blu-ray | 監督・山田洋次 | 出演・吉永小百合 二宮和也 黒木華 浅野忠信 加藤健一

## 『バクマン。』 Bakuman | 北米初公開 |

7月17日 日曜日 午後7時

\* 大根仁監督による舞台挨拶



同名の大ヒット漫画を実写映画化した青春ドラマ。高校卒業を控え進路に悩む真城最高(佐藤健)は、学校トップの成績を誇る高木秋人(神木隆之介)から二人で漫画家になろうと誘われる。最初は拒否する最高だが、声優を目指す片思いのクラスメイト・亜豆美保(小松菜奈)との約束をきっかけにプロの漫画家を目指すことを決意。コンビとしてタッグを組んだ最高と秋人は人気漫画雑誌、週刊少年ジャンプの連載を目標に日々奮闘を始めるが、そこにはライバルたちとの激しい競争が待っていた。

2015年 | 119分 | HD CAM | 監督・大根仁 | 出演・佐藤健 神木隆之介 小松菜奈 染谷将太 リリー・フランキー

## 【エキスペリメンタル(実験映像)・スポットライト】

『EXPERIMENTAL SPOTLIGHT (実験映像・スポットライト) : 前衛的アニメーション特集 Anime Vanguard (アニメ ヴァンガード)』

7月17日 日曜日 午後9時30分

\* 映像作家小野ハナによる舞台挨拶

\* 18歳以上対象



実験やコラボレーションにより作り出されるアヴァンギャルド映像。昨年から始まった実験映像プログラムの第2弾は日本発信の実験アニメーションに注目。それぞれ独特な世界観に溢れる本作品集はどれもニューヨーク初公開。手書きやデジタル、ミュージック・ビデオから短編ストーリーなど様々な手法やスタイルを紹介。独創的でたまにエロティックな本プログラムでは様々な感性を堪能できます。

プログラム冒頭には6月18日(土)にJSで行われる Mono No Aware (ニューヨークを拠点に活躍する実験映像団体)による手書きアニメーション・ワークショップ参加者の作品を上映予定。

上映作品リスト:

監督・水江未来&小野ハナ『AGE OF OBSCURE』(エイジ・オブ・オブスキュア) 北米初公開

監督・小野ハナ『Ouch, Chou Chou』(あいたたぼっち) 北米初公開

監督・平岡政展『Land』(ランド) ニューヨーク初公開

監督・冠木佐和子『MASTER BLASTER』(マスター・ブラスター) ニューヨーク初公開

監督・和田淳『The Great Rabbit』(グレートラビット) ニューヨーク初公開

監督・幸洋子『lost summer vacation』(ロスト・サマー・バケーション) 米国初公開

監督・冠木佐和子『Don't tell Mom』(おかあさんにないしょ) ニューヨーク初公開

監督・平野遼『HOLIDAY』(ホリデイ) ニューヨーク初公開

監督・水江未来『TENSAI BANPAKU』(天才万博) ニューヨーク初公開

監督・幸洋子『ZDRAVSTVUITE!』(ズドラストヴィチェ!) 東海岸初公開

監督・小野ハナ『such a good place to die』(惑星オノハナは死ぬのに良い場所) 北米初公開

## 『恋人たち』 Three Stories of Love

| ニューヨーク初公開 |

7月18日 月曜日 午後6時30分



第89回キネマ旬報ベスト・テン日本映画第1位、第70回毎日映画コンクール日本映画大賞作。通り魔事件で妻を失い、橋梁点検の仕事しながら裁判のために奔走するアツシ(篠原篤)。郊外に住む瞳子(成嶋瞳子)は、自分に関心をもたない夫と、そりが合わない姑と3人で暮らし。同性愛者で完璧主義者のエリート弁護士・四ノ宮(池田良)は、高級マンションで一緒に暮らす恋人がいたが、学生時代の親友に秘かに思いを寄せている。3人は、それぞれの運命の中でもがき苦しみながらも、人とのつながりを通して当たり前の日々のかけがえのなさに気付いていく。

2015年 | 140分 | DCP | 監督・橋口亮輔 | 出演・篠原篤 成嶋瞳子 池田良 黒田大輔 内田慈 リリー・フランキー

## 『ハッシュ!』 Hush! |

7月18日 月曜日 午後9時30分



第54回カンヌ国際映画祭監督週間正式出品作。気ままなゲイライフを送るペットショップ店員の直也(高橋和也)は、夜の街で出会った土木研究所勤務の勝裕(田辺誠一)と付き合うことになる。そんなある日、2人が偶然知り合った自由奔放な朝子(片岡礼子)の出現により、平穏な毎日が揺らぎ始めていく。やがて朝子は、勝裕がゲイであることを承知の上で彼の子供がほしいととうち明ける。3人はそれぞれの家族を巻き込みながら、人生の決断を迫られていく。

2001年 | 135分 | 35mm | 監督・橋口亮輔 | 出演・田辺誠一 高橋和也 片岡礼子 秋野暢子

『団地』The Projects | 北米初公開 |  
7月19日 火曜日 午後6時30分

日本を代表する舞台女優・藤山直美のために阪本監督が書き下ろした完全オリジナル脚本の会話劇。三代続いた漢方薬局を売り払い、大阪近郊の古ぼけた団地へ引っ越してきた山下ヒナ子（藤山直美）と夫の清治（岸部一徳）。昼間から散歩ばかりしている清治に、周りの住人はあれこれ噂話を立てても、ヒナ子は気にせずパートに出かける毎日を送っていた。そんなある日、些細なきっかけで清治が散歩にでなくなり、スーツ姿の若い男（斉藤工）が家を出入りするようになると、離婚、蒸発、殺人かと近所はますます好奇心を高める。次第に状況はエスカレートし、警察やマスコミまで巻き込む騒動へと発展していく。

2016年 | 104分 | HD CAM | 監督・阪本順治 | 出演・藤山直美 岸部一徳 大楠道代 石橋蓮司 斎藤工



『顔』Face |  
7月19日 火曜日 午後8時45分

2000年度の日本国内の映画賞を総なめにした作品。第55回毎日映画コンクール日本映画大賞、2000年度キネマ旬報日本映画ベスト・テン1位、第24回日本アカデミー賞優秀作品賞など多数受賞。35年間自宅に引きこもり、母親が営むクリーニング店の二階で洋服のかけはぎの仕事をして暮らしている正子（藤山直美）の生活は、母親の急死で一変する。仲が悪かった妹の由香里（牧瀬里穂）を衝動的に殺害してしまい、家を飛び出し逃亡生活することになる。内向的だった性格が逃亡生活中にさまざまな人に出会うことより変わっていき、いつしか生きる意欲を見出していくようになるが・・・実際に起こった逃亡犯をモデルに宇野イサムの原案を阪本順治監督が宇野と共に脚本を執筆。

2000年 | 123分 | 35mm | 監督・阪本順治 | 出演・藤山直美 佐藤浩市 大楠道代 豊川悦司 牧瀬里穂



『あるみち』A Road | 北米初公開 |  
7月20日 水曜日 午後6時30分

\*エマニュエル・オセークフォーJr. 監督による舞台挨拶  
\*短編『うまれつき』Born With It も共に上映 | ニューヨーク初公開 |

有名自主映画のコンペティション・PFF アワード2015でグランプリ受賞。第66回ベルリン映画祭に正式出品。監督は東京造形大学在学中の学生で、ベルリン映画祭では長編映画の監督として史上最年少（当時22歳）の出品作となったことでも話題。主人公の杉本大地を監督本人が実名で演じるほか、母親や友人役も実在する本人たちが登場する。ストーリーは、浪人時代を経て、念願の美術大学に入学した青年の日常が舞台。友人たちとの何気ない会話や、昔の仲間との関係性の変化、そして母親との日常のやりとりが、絶妙なリアリティで描かれる。キャストから撮影スタッフまで全員が素人で構成されたフレッシュ感溢れる話題作。



2015年 | 85分 | HD CAM | 監督・杉本大地 | 出演・杉本大地 勝倉悠太 杉本りか 碓石優人 近藤耀司

短編『うまれつき』Born With It | ニューヨーク初公開 |  
アフリカ系日本人のケイスケが日本の田舎の小学校に転校して、どうして自分は他の人と肌の色が違うのかを少しずつ受け入れていく様子を描いている。  
2014年 | 16分 | 監督・エマニュエル・オセークフォーJr. |

『お母さん、いい加減あなたの顔は忘れてしまいました』Mother, I've Pretty Much Forgotten Your Face | 海外初公開 |  
7月20日 水曜日 午後8時45分  
\*詩人・三角みづ紀とパーカッショニスト井谷享志による舞台挨拶



1980年にパンク・ロックバンド「ザ・スターリン」を結成し、その過激なライブパフォーマンスで世間を賑わしたミュージシャン・遠藤ミチロウ。1993年のバンド解散後も精力的に活動し続けている。そんな中、遠藤の還暦ツアー中に東日本大震災が起きる。それまで故郷や家族を顧みることにはなかった遠藤が、故郷である福島の悲惨な現実に直面し、仲間とともに「PROJECT FUKUSHIMA!」を始動させることになる。自身の代表曲「お母さん、いい加減あなたの顔は忘れてしまいました。」をタイトルに掲げ、遠藤自身が監督を務める。

2016年 | 103分 | DCP | 監督・遠藤ミチロウ | 出演・遠藤ミチロウ 三角みづ紀 盛島貴男 竹原ピストル

『シェル・コレクター』The Shell Collector | 北米初公開 |  
7月21日 木曜日 午後7時  
\*坪田義史監督、俳優・リリーフランキーによる舞台挨拶と質疑応答  
\* CUT ABOVE 賞 for Outstanding Performance in Film 授賞式&上映会後、UNDERWATER DREAM (アンダーウォーター・ドリーム)パーティー開催



ピュリッツァー賞受賞の米国人作家・アンソニー・ドーアの同名短編小説を映画化。貝類学の世界で成功を収めた盲目の学者（リリー・フランキー）は、妻子と離れて沖繩の孤島で貝を収集しながら一人静かに暮らしていた。そんなある日、奇病を患った女性画家いづみ（寺島しのぶ）が島に流れ着く。いづみの奇病を偶然にも学者が見つけた新種のイモガイの毒によって治癒してしまう。それを知った人々は、貝毒による治療法を求めて島に押し寄せ、やがて学者の日常は狂い始めていく。  
2016年 | 89分 | DCP | 監督・坪田義史 | 出演・リリー・フランキー 寺島しのぶ 池松壮亮 橋本愛 普久原明



### 『きみはいい子』 Being Good | ニューヨーク初公開 |

7月22日 金曜日 午後6時30分

\* 呉美保監督による舞台挨拶及び質疑応答

第37回モスクワ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品。児童虐待、いじめ、モンスターペアレンツ、認知症など、現代を象徴する問題の数々を含んだヒューマンドラマ。岡野匡（高良健吾）は、小学校の新米教師。まじめだが優柔不断で、クラスの問題にうまく向き合えず、恋人ともうまくいかない日々を送っている。一方、水木雅美（尾野真千子）は、夫が海外に単身赴任中のため3歳の娘との二人暮らし。幼少時に受けた虐待がトラウマになり、我が子にもたびたび手をあげてしまう。一つの町で暮らす彼らは、それぞれの問題を抱えながら人々と出会い、人を愛することの大切さを知っていく。

2015年 | 121分 | DCP | 監督・呉美保 | 出演・高良健吾 尾野真千子 池脇千鶴 高橋和也



### 『ケンとカズ』 Ken and Kazu | 北米初公開 |

7月23日 土曜日 午後2時

第28回東京国際映画祭日本映画ブラッシュアップ部門作品賞受賞。自動車修理工場で働く悪友ケン（カトウシンスケ）とカズ（毎熊克哉）は、裏では覚せい剤の取引で金を稼いでいるが、ケンは恋人・早紀（飯島珠奈）の妊娠を機に、人生をやり直そうと考えていた。一方のカズは、認知症の母親を施設に入れるために資金が必要なことをケン言い出せずにいた。カズの危険な行動により元締めのカズに目を付けられ、二人は次第に追い詰められていく。

2015年 | 98分 | Blu-ray | 監督・小路紘史 | 出演・カトウシンスケ 毎熊克哉 藤原季節 飯島珠奈 高野春樹



### 『断食芸人』 The Artist of Fasting | 北米初公開 |

7月23日 土曜日 午後4時30分

\* 足立正生による紹介ビデオメッセージ

\* 18才以上対象

1960年代に“アングラの旗手”として名を馳せた伝説的な映画監督・足立正生が、さまざまな解釈が可能なフランツ・カフカの同名小説を現代社会を舞台に映像化。ある日、ある街角にふらふらと現れ座り込んでしまった一人の男（山本浩司）。どこから来て、いったい何をしているのか——駆け寄った少年の問いかけに男は一切答えない。男の存在はSNSで拡散され、やがて人々はこの得体の知れないこの男を「断食芸人」に仕立てあげていく。50日間絶食した男の末路は果たして…。

2015年 | 105分 | DCP | 監督・足立正生 | 出演・山本浩司 桜井大造 流山児祥 本多章一 伊藤弘子



### 『無伴奏』 A Cappella | 北米初公開 |

7月22日 金曜日 午後9時30分

\* プロデューサー・登山里紗による舞台挨拶

原作は直木賞作家・小池真理子による半自叙伝的恋愛ストーリー。舞台は日本全国で学生運動が繰り広げられた1969年の仙台。学園紛争に関わっていた女子高校生・響子（成海璃子）は、クラシック音楽の流れる喫茶店「無伴奏」で、大学生の堂本渉（池松壮亮）とその友人たちと出会う。独特の雰囲気を持つ渉に次第に惹かれ、やがて恋愛関係を結んでゆく響子。そこには誰もが予測しなかった衝撃的な未来が待っていた。

2016年 | 132分 | DCP | 監督・矢崎仁司 | 出演・成海璃子 池松壮亮 斎藤工 遠藤新菜 松本若菜



### 『ボクは坊さん』 I Am a Monk

| ニューヨーク初公開 |

7月23日 土曜日 午後12時

愛知県今治市にある栄福寺の住職・白川密成氏が綴った実話エピソードを映画化。本屋で働く白川光円（伊藤淳史）は、住職だった祖父の死をきっかけに24歳で住職になることを決める。初めて足を踏み入れたその世界には、檀家の人々との関わりから坊さん専用グッズまで、想像もしていなかった驚きの毎日が待っていた。慣れない生活に四苦八苦しながら、葬儀や結婚式で人間の生死と向き合い、様々な経験を積んでいく。住職として自分は何ができるか——取り巻く友人たちとの交流を通して、試行錯誤しながらも着実に成長を遂げていく。

2015年 | 99分 | DCP | 監督・真壁幸紀 | 出演・伊藤淳史 山本美月 溝端淳平 濱田岳 松田美由紀



### 『FAKE』 FAKE | スペシャル・プレビュー |

7月23日 土曜日 午後7時

\* 森達也監督による舞台挨拶及び映画作家・想田和弘司会による質疑応答。

2014年に発覚したゴーストライター騒動でメディアを騒がせた虚偽の作曲家・佐村河内守の素顔に迫った衝撃のドキュメンタリー。監督は、オウム真理教を題材にした映画をはじめ、タブーに踏み込むドキュメンタリーで名を馳せる森達也。聴覚障害のハンディキャップを乗り越えて華麗で美しい楽曲を書き上げる佐村河内は、“現代のベートーヴェン”と称賛され悲劇の天才作曲家として各所で活躍していた。しかし、音楽家の新垣隆の告白により、佐村河内の楽曲はゴーストライターを務めていた新垣隆によるものであり、さらには実際には耳が聞こえていることが暴露された。本編では、その後世間から身を潜めていた佐村河内の様子を自宅で撮影し、その知られざる素顔に迫る。

2016年 | 109分 | DCP | 監督・森達也 | 出演・佐村河内守 新垣隆 森達也



『爆裂都市』Burst City |  
7月23日 土曜日 午後10時

監督は1970年代後半にインディーズ映画の騎手として注目され1980年の『狂い咲きサンダーロード』で一躍脚光を浴びた石井聰互。荒廃した近未来を舞台に、過激なパフォーマンスを繰り広げるロックバンドとそれを取り巻く暴力と快楽に満ちた社会を描いたアクション映画。原子力発電所建設を企てる暴力団と暴徒化した貧民層、戦闘警察の介入によって破壊されていく街が舞台。地元のライブハウス「20000V」で人気のロックバンド“バトル・ロッカーズ”が演奏中に突如“マッド・スターリン”が殴り込んでくる。彼らのファン同士で熾烈な抗争が始まっていく。当時音楽シーンを賑わせていたミュージシャンが多数出演している事でも知られる。

1982年 | 117分 | 35mm | 監督・石井聰互 | 出演・陣内孝則 町田町蔵 遠藤ミチロウ 泉谷しげる 室井滋 大江慎也



『ビリギャル』Flying Colors | ニューヨーク初公開 |  
7月24日 日曜日 午前11時45分

実在する女子高生の受験話を描いたベストセラー書籍『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』を映画化。主人公・さやか(有村架純)は金髪、ヘソ出しに超ミニスカートの今どきのギャル。素行不良で成績学年ビリで問題児のさやかは、母親の言いつけで塾に通うことになる。そこで出会う教師(伊藤淳史)の励ましで、小学4年生レベルの学力から慶応大学合格を目指すという、無謀とも思える挑戦を始める。

2015年 | 117分 | HD CAM | 監督・土井裕泰 | 出演・有村架純 伊藤淳史 野村周平 田中哲司 吉田羊



『ふきげんな過去』Kako: My Sullen past | 北米初公開 |  
7月24日 日曜日 午後2時

三島由紀夫賞&向田邦子賞受賞の経歴を持つ異才の劇作家・前田司郎がオリジナル脚本で挑んだ人間ドラマ。東京・北品川の食堂「蓮月庵」で退屈な毎日を過ごす女子高生・果子(二階堂ふみ)の前に、18年前に爆破事件を起こして死んだはずの伯母・未来子(小泉今日子)が突然戻ってくる。戸籍も無く何かに追われている様子の未来子は、果子の部屋に居候することになる。そんな状況にいらだちと不満を募らせる果子。しかしある時、未来子に「自分が本当の母親である」と告げられ、何もかもが平凡で退屈な夏休みが、果子にとって特別な時間となっていく。

2016年 | 120分 | DCP | 監督・前田司郎 | 出演・小泉今日子 二階堂ふみ 高良健吾 板尾創路 山田望叶



『エミアビのはじまりとはじまり』Emi-Abi | 世界初公開 |  
7月24日 日曜日 午後4時30分  
\* 渡辺謙作監督による舞台挨拶及び質疑応答

第37回日本アカデミー賞で最優秀脚本賞(『舟を編む』)を受賞した渡辺謙作の監督作。人気上昇中の漫才コンビ「エミアビ」の海野(前野朋哉)は、自動車事故で同乗していた雛子(山地まり)とともに突然世界してしまう。相方を失い途方に暮れる実道(森岡龍)は、マネージャーの夏海(黒木華)を連れ、雛子の兄・黒沢(新井浩文)に会いに行く。黒沢も数年前までお笑い界で活躍しており、エミアビの先輩かつ恩人だった。亡き雛子のためにと黒沢からネタを頼まれる実道だが、黒沢からは厳しいダメ出しを連発される。遺された彼らは、互いの人生と交差しながら自らを「再生」していく。

2016年 | 88分 | HD CAM | 監督・渡辺謙作 | 出演・森岡龍 前野朋哉 黒木華 山地まり



『俳優 亀岡拓次』The Actor | 北米初公開 |  
7月24日 日曜日 午後7時  
\* 横浜聡子による舞台挨拶及び質疑応答

自ら劇団を持ち、俳優としても活躍する作家・戌井昭人の同名小説を映画化。37歳独身の亀岡拓次(安田顕)は、幅広い役柄をこなす名脇役俳優として大忙しの毎日を送っている。しかし私生活では、彼女もいなく安い居酒屋を一人飲み歩くという地味な日常だった。ある日、ロケ先の長野県諏訪市で立ち寄った居酒屋の女将・安曇(麻生久美子)に恋をしてしまう。そんな中、世界的に著名な監督の新作オーディションを受けるという、一世一代の大チャンスがやってくる。果たして亀岡の人生はどう転がっていくのか…。音楽は、NHKの連続テレビ小説『あまちゃん』を担当したことで知られる大友良英が手掛ける。

2015年 | 123分 | DCP | 監督・横浜聡子 | 出演・安田顕 麻生久美子 宇野祥平 新井浩文 染谷将太



## 【パネル討論会】

### 「日本内外の日本の映画文化」

#### Japanese Film Culture In & Out of Japan

7月20日 水曜日 午後4時

過去10年間にジャパン・カツ！で最新の日本映画を紹介してきた中で、映画文化は、制作、配給、上映のスタイルなど日本内外でも変遷を続けています。ジャパン・カツ！などの映画祭の役割や近年の海外における日本映画に対する認知度などについて意見を交換します。パネリストには、1992年よりぴあフィルムフェスティバルのディレクターを務めている荒木啓子、ニューヨーク在住の映画作家・想田和弘、ハーバード大学東アジア言語・文明学部准教授のアレクサンダー・ザルテン。  
本パネル講演会は参加費無料、先着順の受け付けとなります。

### ジャパン・カツ！X ndjc 10周年記念 マイクロシネマ

#### 『若手映画作家育成プロジェクト』

#### New Directions in Japanese Cinema (ndjc)

7月14日(木)～7月24日(日) 午前11時

今年ジャパン・カツ！が10周年を迎えるとともに、VIPO(映像産業振興機構)は、映像産業というくりで業態を超えて設立され、その特性を生かした育成支援として、2006年より、文化庁委託事業「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」を企画しており、2015年に10年目を迎えました。ジャパン・カツ！とndjcの10周年記念として、過去10年間の完成作品から選りすぐりの計10作品を本映画祭開催中毎日午前11時から終日までループ上映。全作35ミリで撮影されたクオリティーの高い30分の短編作品を1階ロビー奥のムラセルームに設ける特設上映会場で将来有望の若手監督作品を楽しめます。

上映作品リスト:

『はなくらち』Hana, Kujira, Chichi | 海外初公開 | 2015年 | 監督・堀江貴大

『エンドローラーズ』ENDROLLERS | 北米初公開 | 2014年 | 監督・吉野耕平

『オシャレ番外地』Buy Bling, Get One Free | 北米初公開 | 2013年 | 監督・高谷昂佑

『んで、全部、海さ流した。』Turning Tides | 北米初公開 | 2012年 | 監督・庄司輝秋

『ここにいる・・・』I AM HERE | 海外初公開 | 2011年 | 監督・七字幸久

『おとこのこ』Boys | 北米初公開 | 2010年 | 監督・松永大司

『ホールイン・ワンダーランド』HOLE IN WONDERLAND | 北米初公開 | 2009年 | 監督・清水艶

『嘘つき女の明けない夜明け』A LYING WOMAN'S DAYBREAK | 北米初公開 | 2008年 | 監督・熊谷まどか

『直下型の女』SEISMIC GIRL | 海外初公開 | 2007年 | 監督・タテナイケンタ

『LINE』 | 海外初公開 | 2006年 | 監督・中尾浩之

## 【特別ゲストプロフィール】

### リリー・フランキー (『シェル・コレクター』『バクマン。』『恋人たち』)

1963年生まれ。福岡県出身。俳優、小説家、イラストレーター、エッセイスト、写真家、ミュージシャン、作詞・作曲家など多岐にわたる分野で活躍。自身初の長編小説『東京タワー～オカンとボクと、時々、オトン～』は、220万部を超える大ベストセラーとなり、2006年本屋大賞を受賞し、2006年と2007年にテレビドラマ化、2007年に映画化される。俳優業では『ぐるりのこと。』に出演し(2009年ジャパン・カツ！上映作品)、第51回ブルーリボン賞新人賞を受賞。第66回カンヌ国際映画祭審査員賞を受賞した映画『そして父になる』では、子供を取り違えられたもう一組の夫婦の夫役を好演し、国際的に知名度が上がり、第37回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞や第87回キネマ旬報ベスト・テン・助演男優賞など数々の賞を受賞。



### でんでん (『下衆の愛』)

1950年生まれ。福岡県出身。30歳の時、素人でも参加できるお笑いスター誕生番組にて8週勝ち抜きを果たし、このテレビ初登場きっかけに映画、テレビ、舞台には欠かせない俳優となる。出演作品は100本以上を超え、黒沢清監督『CURE』(1997年)、清水崇監督『呪怨』(2000年)など数々の有名作品に出演。一躍注目を浴びた、園子温監督『冷たい熱帯魚』(2010年)では第35回日本アカデミー賞助演男優賞など多数の賞を受賞。



### 前田敦子 (『モヒカン故郷に帰る』)

1991年生まれ。千葉県出身。人気女性アイドルグループ、AKB48の元中心メンバー。2012年AKB48を卒業し、歌手や女優として活躍している。、映画やテレビドラマにも多数出演。廣木龍一監督、黒沢清監督、中田秀夫監督、山下敦弘監督などの作品に出演し、アイドル時代のイメージとは異なる数々の役を演じ、女優としてのキャリアを着実に積んでいる。



### 三角みづ紀 (『お母さんいい加減あなたの顔は忘れてしまいました』)

1981年生まれ。鹿児島県出身。詩人であり、パーフォーマー、著者、音楽家などの多面性を持つ。12歳より詩作をはじめ。2004年に第42回現代詩手帳賞を受賞。第1詩集『オウバアキル』が第10回中原中也賞を受賞し、第2詩集『カナシヤル』で第18回歷程新鋭賞、2006年度南日本文学賞を受賞。第5詩集『隣人のいない部屋』で第22回萩原朔太郎賞を最年少受賞する。ジャンルを超えたあらゆる表現を「現代詩」として発信している。





### 森達也 (『FAKE』)

1956年生まれ。広島県出身。テレビ番組制作会社にて報道、ドキュメンタリーの番組を中心とする作品を制作。1998年、オウム真理教の荒木浩を主人公とする映画『A』を制作し、第49回ベルリン国際映画祭を含む釜山、香港、バンクーバーなどの国際映画祭に正式招待される。続編となる『A2』(2001年)は山形国際ドキュメンタリー映画祭で特別賞・市民賞を受賞。2011年に東北沖地震の震災をテーマとするドキュメンタリー映画『311』を綿井健陽、松林要樹、安岡卓治と共同制作。2010年に出版した著書『A3』で第33回講談社ノンフィクション賞受賞。執筆活動もしており、社会問題やメディアを取り上げた著書は、30冊以上。



### 呉 美保 (『きみはいい子』)

1977年生まれ。三重県出身。大阪芸術大学芸術学部映像学科を卒業後、大林宣彦監督の事務所に入所し映画界に入る。2003年、短編作品『ハルモニ』が東京国際ファンタスティック映画祭にてデジタルショート600秒ノ泣き部門最優秀賞を受賞。自身初の長編脚本『ヨモヤマブルース』で、2005年サンダンス・NHK国際映像作家賞ノ日本部門を受賞し、翌年、題名を『酒井家のしあわせ』と改題し、長編映画監督としてデビュー。2014年、『そのみにて光輝く』(2015年ジャパン・カット!上映作品)で第38回モントリオール世界映画祭最優秀監督賞を受賞。また同作は、第87回アカデミー賞外国語映画賞部門の日本出品作品としても選出される。



### 沖田修一 (『モヒカン故郷に帰る』)

1977年生まれ。愛知県生まれ、埼玉県出身。日本大学芸術学部映画学科を卒業。2002年、短編作品『鍋と友達』で、第7回水戸短編映画祭グランプリを受賞。2006年、『このすばらしき世界』で初の長編作品を監督し、元南極観測隊員・西村淳のエッセイを映画化した『南極料理人』(2009年)で商業映画デビューを果たす。俳優・役所広司と小栗旬が初共演した『キツツキと雨』(2012年)は、第24回東京国際映画祭で審査員特別賞を受賞し、2012年ジャパン・カット!でハイライト作品として上映される。



### 大根仁 (『バクマン。』)

1968年生まれ。東京都出身。堤幸彦監督に師事し、テレビドラマ等のアシスタント・ディレクターとしてキャリアをスタートする。第35回日本アカデミー賞話題賞・作品部門を受賞した、初の映画監督作品『モテキ』(2012年ジャパン・カット!上映作品)で大きな話題を呼び、2作目となった長編作品『恋の渦』(2013年)で第5回TAMA映画祭特別賞を受賞。長編3作目となる『バクマン。』(2015年)では、第39回日本アカデミー賞優秀監督賞、話題賞作品部門を受賞し、第25回日本映画評論家大賞監督賞など多数受賞。ビジュアルのダイナミックさや笑いのセンスが注目され、監督作品は、ウーディネ極東映画祭(イタリア・ウーディネ)やニッポン・コネクション(ドイツ・フランクフルト)などの国際的な映画祭でも度々上映されている。。

### 小野ハナ (Experimental spotlight: Anime Vanguard, 『AGE OF OBSCURE』 『Ouch, Chou Chou』)

1986年生まれ。岩手県出身。東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻の修了制作作品『澱みの騒ぎ』が第69回毎日映画コンクール大藤伸郎賞を受賞。数々の作品がTOKYO ANIMA!、ソウル国際マンガ・アニメーション映画祭、FANTOCHE、オタワ国際アニメーション映画祭などで上映されている。実力派と称され、空想の世界を無限に表現している。



### エマニュエル・オセークフォーJr. (『Born With It 生まれつき』)

テキサス州出身。ガーナ系アメリカ人。2007年に初訪日した時から日本映画の繊細さに魅了される。過去約6年間、日本を拠点として監督そしてプロデューサーとしてテレビや映画界で活動し、手がけた作品は、カンヌやトロントなど国際映画祭などでプレミア上映を果たす。現在はロサンゼルスを拠点とし、自身初となるアメリカと日本の両国を題材にした長編作品に臨んでいる。



### 坂本龍一 (『母と暮せば』)

1952年生まれ。東京都出身。世界的に活躍する作曲家、音楽プロデューサー、そしてミュージシャン。1970年代後半に形成され人気を博した、YMO(イエロー・マジック・オーケストラ)にメンバーとして参加。大島渚監督作『戦場のメリークリスマス』(1983年)では俳優として出演し、初の映画音楽を担当する。、同作品の音楽は、数々の絶賛を浴び、第37回英国アカデミー賞作曲賞を日本人として初めて受賞。ベルナルド・ベルトルッチ監督作『ラストエンペラー』(1987年)では第60回アカデミー賞作曲賞を受賞。近年では、アレハンドロ・G・イニャリトウ監督作『レヴェナント: 蘇えりし者』(2016年)の音楽をアルヴァ・ノトと共に担当。



### 坪田義史 (『シェル・コレクター』)

1975年生まれ。神奈川県出身。漫画家、イラストレーターである父親の影響を受け、映画制作を始める。多摩美術大学在学中の作品『でかいメガネ』(2000年)が映像アートの祭典、イメージフォーラム・フェスティバル2000でグランプリを受賞。初の劇場デビュー作品『美代子阿佐ヶ谷気分』(2009年)は海外からも注目され、2010年39回ロッテルダム国際映画祭コンペティション部門VPROタイガー・アワードで選出されたのを皮切りに数々の国際映画祭でプレミア上映される。2012年には、文化庁新進芸術家海外研修制度でニューヨークで活動する。小説家、プロダクション・デザイナー、テレビコマーシャルやミュージックビデオの監督など多岐に渡り手掛けている。



### アダム・トレル（『下衆の愛』）

プロデューサーであり、日本およびアジア映画を海外に紹介する英国の映画配給会社、Third Window Films の代表。園子温監督、中島哲也監督、塚本晋也監督などの作品が世界から注目を集めることに貢献している。共同制作作品として、園子温監督の『希望の国』（2012年）があり、藤田容介監督の『福福荘の福ちゃん』（2014年）では、プロデューサーとして参加している。



### 内田英治（『下衆の愛』）

1971年生まれ。ブラジル・リオデジャネイロ出身。映画監督、脚本家として活躍する以前は、テレビ番組のアシスタント・ディレクターを約1年間担当したり、『週刊プレイボーイ』のライターとして活動する。2000年、テレビドラマ『教習所物語』で脚本家としてデビュー。2004年、『ガチャポン』で劇場公開作品を初監督。第8回ジャパン・カット！上映作品でもある『グレートフルデッド』（2014年）は、ベルギーのブルユッセル・ファンタスティック国際映画祭、米国のファンタスティック・フェス、英国のレインダンス映画祭など世界30以上の映画祭で上映され、絶賛を浴びる。



### 渡辺謙作（『エミアビのはじまりとはじまり』）

1971年生まれ。福島県出身。1991年、『夢二』で助監督を務めてから鈴木清順監督に師事する。『プープーの物語』（1998年）で脚本家、映画監督としてデビューを果たし、プロデューサーそして俳優としても主演した『波』（2001年）で第31回ロッテルダム国際映画祭 NETPAC 賞（最優秀アジア映画賞）を受賞。2012年、本屋大賞第1位になった三浦しをん著の同名小説を映画化した『舟を編む』（2013年）では、脚本を担当し、第37回日本アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞。



### 横浜聡子（『俳優 亀岡拓次』）

1978年生まれ。青森県出身。横浜市立大学国際文化学部を卒業後、1年間のOL生活を東京で送る。その後、映画美学校に入学し、卒業制作作品『ちえみちゃんこっくんぱっちょ』（2006年）が大阪映像文化振興事業実行委員会主催のシネアスト・オーガニゼーション大阪（CO2）オープンコンペ部門最優秀賞を受賞。初の長編監督作品『ジャーマン+雨』（2006年）を自主制作し、CO2シネアスト大阪市長賞や2007年度日本映画監督協会新人賞を受賞。出身地である青森県で撮影をした『ウルトラミラクルラブストーリー』（2009年）で商業映画デビューを果たし、トロント国際映画祭、バンクーバー国際映画祭やロンドン映画祭などで正式招待作品として上映され新鋭の女性監督として注目を浴びる。短編作品『おばあちゃん女の子』（2011年）、『真夜中からとびうつれ』（2011年）、『りんごのうかの少女』（2013年）を手がけ、期待される最新作『俳優 亀岡拓次』のメガホンをとった。



## 上映会スケジュール一覧

\* ゲスト(監督・俳優)を迎えての作品紹介およびQ&Aを予定  
 \*\* ゲスト(監督・俳優)を迎えての作品紹介およびQ&Aと、上映後パーティー/レセプションを開催

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				7/14 <u>7 pm**</u> モヒカン故郷に帰る	15 <u>6:30 pm</u> 蜜のあわれ <u>8:30 pm*</u> 下衆の愛	16 <u>12 pm</u> 殿、利息でござる！ <u>2:30 pm</u> 園子温という生きもの <u>4:45 pm</u> ひそひそ星 <u>7:30pm</u> ラブ&ピース
17 <u>12 pm</u> あえかなる部屋 内藤礼と、光たち <u>1:45 pm</u> さようなら <u>4:15 pm*</u> 母と暮らせば <u>7 pm*</u> バクマン。 <u>9:30 pm *</u> EXPERIMENTAL SPOTLIGHT (実験映像・スポットライト):前衛的アニメーション特集 Anime Vanguard (アニメ ヴァンガード)	18 <u>6:30 pm</u> 恋人たち <u>9:30 pm</u> ハッシュ！	19 <u>6:30 pm</u> 団地 <u>8:45 pm</u> 顔	20 <u>4 pm</u> パネル・ディスカッション <u>6:30 pm*</u> あるみち <u>8:45 pm*</u> お母さんいい加減あなたの顔は忘れてしまいました	21 <u>7 pm**</u> シェル・コレクター	22 <u>6:30 pm*</u> きみはいい子 <u>9:30 pm*</u> 無伴奏	23 <u>12 pm</u> ぼくは坊さん <u>2 pm</u> ケンとカズ <u>4:30 pm</u> 断食芸人 <u>7 pm*</u> FAKE <u>10 pm</u> 爆裂都市
24 <u>11:45 am</u> ビリギャル <u>2 pm</u> ふきげんな過去 <u>4:30 pm*</u> エミアビのはじまりとはじまり <u>7 pm*</u> 俳優 亀岡拓次						